令和９（2027）年度

一橋大学入学者選抜要項

一 橋 大 学

HITOTSUBASHI UNIVERSITY

本「入学者選抜要項」は、文部科学省が定める「令和９年度大学入学者選抜実施要項」に基づき、入学者選抜に関する基本的な事項を、各選抜の「募集要項」に先立ち公表するものです。

出願に当たっては、各選抜の「募集要項」を必ず参照してください。（「14 募集要項等について」参照）

なお、不測の事態が発生した等の場合は、本要項に記載されている各選抜の試験期日や選抜方法等を変更することがあります。その場合の情報提供は以下のウェブサイトへの掲載により行いますので、特に出願及び受験の直前は必ず確認してください。

一橋大学トップページ ＞ 一橋大学で学びたい方へ

https://juken.hit-u.ac.jp/

目次

1　一橋大学研究教育憲章 ……3
2　各学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針） ……3
3　学部・学科 ……9
4　入学定員 ……9
5　出願資格 ……10
6　障害等のある入学志願者への受験上の配慮について ……11
7　入学者選抜方法等
(1) 一般選抜 ……13
(2) 学校推薦型選抜等 ……13
8　今年度以降の入学者選抜に係る予告事項 ……14
9　一般選抜（前期日程・後期日程）の日程等 ……15
10　一般選抜（前期日程・後期日程）の実施教科・科目等 ……16
11　学校推薦型選抜 ……18
12　外国学校出身者選抜 ……29
13　私費外国人留学生選抜 ……31
14　募集要項等について ……34

１　一橋大学研究教育憲章

一橋大学は、市民社会の学である社会科学の総合大学として、リベラルな学風のもとに日本における政治経済社会の発展とその創造的推進者の育成に貢献してきた。人文科学を含む研究教育の水準はきわめて高く、創立以来、国内のみならず国際的に活躍する、多くの有為な人材を輩出している。

この歴史と実績を踏まえ、一橋大学は、日本及び世界の自由で平和な政治経済社会の構築に資する知的、文化的資産を創造し、その指導的担い手を育成することを使命とする。一橋大学は、この使命を達成するため、先端的、学際的な社会科学の研究教育を積極的に推進し、日本及び世界における拠点として、人間社会に共通する重要課題を解決することを目指し、研究教育の理念と基本方針とを次のように定める。

１　一橋大学の研究教育の理念

(1) 充実した研究基盤を確立し、新しい社会科学の探究と創造の精神のもとに、独創性に富む知的、文化的資産を開発、蓄積し、広く公開する。

(2) 実務や政策、社会や文化との積極的な連携を通じて、日本及び世界に知的、実践的に貢献する。

(3) 豊かな教養と市民的公共性を備えた、構想力ある専門人、理性ある革新者、指導力ある政治経済人を育成する。

２　一橋大学の研究教育の基本方針

(1) 大学の社会的責任を自覚し、法と倫理を重んじ、自治と知的誠実の精神をもって研究教育を行う。

(2) 研究教育における構成員の自由と自律、個性と多様性を尊重する。

(3) 理論的研究と実務的研究、基礎的研究と先端的研究を等しく重視する。

(4) 研究成果を国内外に広く公開するとともに、客観的、かつ、公平な自己評価及び外部評価により、その成果を厳しく検証する。

(5) 対話と双方向の教育を基軸とした、自由で緊張感ある教育環境を育成し、発展させる。

(6) 学生個々人の感性を磨き、理性を鍛え、創造性と論理性、構想力と判断力を養うことを教育の指針とする。

(7) 市民社会、産業界、官界との連携を適正、かつ、積極的に推進し、社会の課題に的確に応える。

(8) 研究教育の国際的連携を図り、情報・人的ネットワークを構築する。

２　各学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

(1) 商学部

【求める学生像】

一橋大学商学部は、企業や市場に関連した現象に対して進んで関心を持ち、それを深く観察することで解決すべき問題を設定し、社会科学的な思考・理論と現実に生じる事象との往復運動を繰り返しながら問題に対する創造的な解を導き、さらにリーダーシップを発揮してそれを実行に移せる人材の育成を使命としています。そのために、商学部に入学した学生は、経営学、会計学、金融論、マーケティングといった領域を中心として、「企業や市場に関連する応用社会科学」を、少人数のゼミナールにおけるきめ細かな指導と、基礎から応用へと着実に展開する段階的なカリキュラムを通じて、学んでいきます。入学後に学修を効果的に進めるためには、社会全般に対して高い関心をもっていることが重要です。企業や市場に限らず、

様々な社会的問題に対する関心を抱くことは、自ら課題を見つけ、主体的に学んで、解決策を導こうとする意欲の源泉になるからです。

企業や市場に関連する応用社会科学を理論的に深く理解し、社会事象を実証的に分析するためには、高度な数理的・論理的能力が必要となります。さらに、国際社会で活躍するためには、外国語によるコミュニケーション能力だけでなく一般的な言語能力が不可欠です。高等学校までの学習において、これらの基礎を身につけておくことにより、商学部での学びはより充実したものとなるでしょう。

【入学者選抜の基本方針】

【求める学生像】に示した知識・能力等を備えているかどうかを判定するため、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等の能力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を次のような入学者選抜において評価します。

一般選抜では、大学入学共通テスト及び個別学力検査（国語・外国語・数学・地理歴史）によって「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力等の能力」を評価します。

学校推薦型選抜では、大学入学共通テスト及び個別学力検査（小論文と面接）によって「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力等の能力」を評価するとともに、個別学力検査（面接）、調査書、推薦書及び自己推薦書によって「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

さらに、私費外国人留学生選抜を実施して、世界各国の留学生を積極的に受け入れています。

(2) 経済学部

経済学部では、経済学の知識と分析技術及びそれらを経済学の専門的な分野に応用する能力を備え、幅広い知識と教養及びグローバルなコミュニケーション能力を経済学の知識と分析技術と融合させて現実の経済・社会の課題を設定し解決に導く能力を、学士（経済学）の授与までに獲得できる人材として以下「１．求める学生像」に掲げる能力や資質を持った方の入学を期待しています。この目標のため、「２．入学者選抜の基本方針」に基づいて入学者を選抜します。

１．求める学生像

以下のすべてを備えた人を求めています。

(1) 経済学の修得に必要な知識・技能を身に付けていること。特に、理論、実証、歴史を体系づけて経済・社会現象を理解するための前提知識

(2) 幅広く豊かな教養を修得できるだけの知識・技能

(3) グローバルなコミュニケーション能力を修得するための英語をはじめとする外国語の知識と思考力・判断力・表現力等の能力

(4) 経済・社会における様々な問題に対して自ら課題を設定し、説得力のある議論に基づいて解決方法を提案する思考力・判断力・表現力等の能力や主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

２．入学者選抜の基本方針

上記に掲げる能力と資質を有しているかを以下の方法を用いて選抜します。

(1) 一般選抜においては、主として大学入学共通テストで(2)と(3)を、個別学力検査で(1)と(3)を評価します。特に、経済学の理解に必要な英語と数学を重要視します。

(2) 学校推薦型選抜においては、主として大学共通テストと小論文による個別学力検査で(1)～(3)を、面接による個別学力検査と調査書、（学校による）推薦書、及び自己推薦書で(1)～(4)を評価します。

(3) 一般選抜は前期日程に加えて後期日程を実施することで多様な人材の確保に努めます。

(3) 法学部

一橋大学法学部では、豊かな教養と市民的公共性を備えた、構想力ある専門人、理性ある革新者、指導力ある政治経済人を育成するとの理念に基づいて、以下のとおり入学者選抜を実施します。

１．求める学生像

本学部は、本学のリベラルな学風の下、学修に関する学生の自主性を最大限尊重しつつ、幅広い教養と社会科学の総合的視野を有すると共に豊かな人権感覚と社会的公共性に裏打ちされた法学の専門的素養や国際的洞察力を修得することで、法化現象の進展とグローバリゼーションの著しい社会状況を前に、将来にわたり日本及び世界の自由で平和な政治経済社会の構築と改革に寄与することのできる多様な人材を育成することを、教育目標としています。

この教育目標を達成するため、本学部は、(1)社会問題を理解するための基礎となる知識・技能、(2)論理的に思考し明晰な言葉で表現する力、及び(3)高いコミュニケーション能力を有する意欲的な学生を求めています。

(1) 社会問題を理解するための基礎となる知識・技能

実社会で生じる問題を多く扱う法学と国際関係学の学修には、学生にとっては必ずしも身近とはいえない事象も含め、日々報道される様々な社会問題に高い関心を持ち、意欲的に情報収集をして知見を広げ、自ら理解を深めようとする姿勢が重要です。そして、そのような学修の前提として、関心を持った社会問題を適切に理解するための基礎的な知識・技能を習得していることも重要となります。

そのため、学力の「知識・技能」という要素の学習成果として、大学入学前に、国語、数学、理科及び情報に関する知識を習得していること、社会問題理解の大前提となる日本と世界の地理・歴史や公民の科目の知識を習得していること、外国語を理解・活用する知識及び技能を有していることが求められます。

(2) 論理的に思考し明晰な言葉で表現する力

論理的に思考し明晰な言葉で表現する力の鍛錬は、法学部のカリキュラム全体を通じて行われることとなりますが、基礎的な能力を備えていることが入学時に求められます。そのため、学力の「思考力・判断力・表現力等の能力」という要素の学習成果として、大学入学前に、適切に論説文の読解や数学的思考の訓練等を行い、基礎的な論理的思考力・表現力を涵養してきた学生を求めています。

日本語能力に関しては、入学の時点で、様々な文章の論旨を正確に把握する能力及び比較的長い論理的文章を作成する能力を有していることが求められます。また、優れた国際的感覚を身につける前提として、英語を中心とする外国語の能力も欠かせません。入学時には、他の外国語を習得する際の基礎学力にもなる英語について、文章の高い理解力と表現力を有していることが求められます。

(3) 高いコミュニケーション能力

本学部で習得することのできる知識や能力の前提条件として、高いコミュニケーション能力は必要不可欠です。カリキュラムを全うして学位を取得するためには、ゼミナール等で主体性を持って教員や他の学生との議論に参加し、協働して学ぶことが必須となるため、相手の考えを適切に理解し、自らの考えを相手に伝わるように的確に表現することが重要です。そのため、学力の「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」という要素の学習成果として、大学入学前に高いコミュニケーション能力を身につけた学生を求めています。

日本語・外国語双方でのコミュニケーション能力は、多様化・グローバル化が進む世界の中で、立場や考えを異にする人々と交わりながら活躍してゆくための基盤となるものであり、国際関係について学ぶことを志す学生のみならず、国内の実定法を専門的に学ぼうとする学生や法律専門職を志す学生にも欠かせないものです。大学入学後にもこの能力を高める教育が実施されますが、大学入学前に、その前

提となる上記の基礎的な能力を習得していることが求められます。

２．入学者選抜の基本方針

上記の(1)～(3)にかかる各受験生の能力を確認するため、次のような基本方針で入学者選抜を実施します。

(a) 一般選抜では、大学入学共通テスト及び論述式試験を基本とする第2次試験で(1)及び(2) を確認します。

(b) 学校推薦型選抜では、大学入学共通テスト及び小論文試験で(1)及び(2)を確認します。さらに、推薦書・調査書等の提出書類で(3)を、面接試験で(1)、(2)及び(3)を、それぞれ確認します。

(c) 外国学校出身者選抜では、第1次選抜の英語・小論文で(1)及び(2)を、第2次選抜の面接で(3)を、それぞれ確認します。また、私費外国人留学生選抜では、TOEFLの成績、日本留学試験（総合科目・数学コース1）の成績及び学力試験（日本語）で(1)及び(2)を、提出書類により(3)を、それぞれ確認します。

(4) 社会学部

一橋大学社会学部では、豊かな教養と市民的公共性を備えた、構想力のある専門人、理性ある革新者、指導力のある政治経済人を育成するという本学が掲げる理念に基づいて、以下のとおり入学者選抜を実施します。

１．求める学生像

一橋大学社会学部は、社会科学及び人文科学の専門的・総合的な教授を通じて、現代社会の諸問題を多角的・批判的に分析し豊かな構想力をもって実践的に解決する人材の育成を目指します。

この目的の実現のために社会学部が用意するカリキュラムは、さまざまな学問分野（社会学・社会調査、国際社会学、哲学・思想、言語文化、社会心理学、人類学、地理学、教育学、政治学、スポーツ社会学、社会政策、歴史学、ジェンダー研究、等々）を専門的に、分野横断的に学修できるよう作られています。また、社会学部生活後半の中核となる後期ゼミナールでは、指導教員のもと、少人数の仲間たちとともに対象を見つめ、意見を交わし、材料を分析・考察し、協同的に思考を重ねながら、学修を深化・高度化させていきます。

学生たちのこのような学修を推進するにあたって、社会学部が重視していることが二つあります。「問題を多面的に把握する」ことと「社会が直面する課題に関心をもつ」ことです。

(1) 現実・問題を多面的に把握する

問題にはさまざまな面があること、そうした多面性は捉え方次第でいっそう際立ったものになること、それはまた自分自身が当たり前だとしてきた前提の問い直しにもつながること・・・社会学部の学生たちはこういった理解体験を重ね、いっそうの学修の必要を感じ、それぞれの取り組みにますます注力していきます。社会学部で学ぼうとする方々には、まずこのような「問題を多面的に把握する」姿勢をもっていていただきたいと思います。カリキュラムに用意されるたくさんの選択肢はそうした姿勢を養うためのものです。時に矛盾・衝突しあう知識を、さまざまな学問分野に求め、それらに依りながら問題を相対的・多面的に比較検討し、考察と判断を重ねてひとつの結論へと編み上げていく、そのような知力を獲得していただきたいと思います。

(2) 社会が直面する課題に関心をもつ

現代社会はさまざまな課題に直面しています。メディアで、ネットで、人びとの間で、いろいろな形で言及されてもいるそれらに対して、社会学部で学ぼうとする方々、学ぶ学生たちには、常に諸課題に関心を向け、対話を通じてその解決に取り組んでいただきたいと思います。人びとと現実の多様性に心を開き、歴史と文化を異にするさまざまな世界のあり方に目を向け、対話と理解を続けようとすること

です。そしてまた、おたがいの共感と配慮のうえに、それぞれのやり方で考え、意見を述べ、誠実かつ真摯に議論を積み重ねていくということです。

このため社会学部は特定の得意科目にとどまらず、自然科学も含めて幅広くさまざまな科目に積極的に取り組もうとする姿勢をもった学生を歓迎します。もちろん、ある科目が得意でとくにそれを詳しく学びたいという学生を拒むわけではありません。ただ、大学で学問を深めるには他分野への関心も含めた視野の広さが不可欠です。特定の科目に自信があり、大学で勉強したい分野がはっきりしている人も、その学びを深めるための土台として広範な知識と関心が必要だということを理解して欲しいと思います。また、大学で何を学ぶのかをこれから模索しようとする学生も社会学部は歓迎します。試行錯誤しながら自分の関心を次第に研ぎ澄ましていこうとする学生をサポートするカリキュラムを私たちは提供しています。

２．入学者選抜の基本方針

上記のような能力を備えた学生を選抜するため、社会学部では一般選抜、学校推薦型選抜、外国学校出身者選抜及び私費外国人留学生選抜を実施します。一般選抜及び学校推薦型選抜においては、基礎学力が確かに身についていることを確認するため、大学入学共通テストで6教科の受験を課します。それに加えて、一般選抜前期日程では、上記の能力及び資質等を総合的に判定するため、第2次試験で国語・数学・外国語・地理歴史を課します。学校推薦型選抜では、基礎学力が身についているかを大学入学共通テストで確認した上で、外国語、数学、情報学などの特定の分野における深い学びを資格・検定試験の結果で判定するとともに、応用力や学びへの姿勢を確認するために、小論文、面接試験、自己推薦書、推薦書を用いた選抜を実施します。

(5) ソーシャル・データサイエンス学部

一橋大学ソーシャル・データサイエンス学部は、豊かな教養と市民的公共性を備えた、構想力ある専門人、理性ある革新者、指導力ある政治経済人を育成するとの理念に基づいて、以下のとおり入学者選抜を実施します。

１．求める学生像

本学部では、社会科学とデータサイエンスが融合するソーシャル・データサイエンスの教育を通じて、社会に存在する課題を解決できるソーシャル・データサイエンスのゼネラリストの養成を目指すことを使命としています。

その目的の実現のため、本学部では、社会科学とデータサイエンスの両方を専門的に学ぶとともに、それらを融合させるカリキュラムを用意しています。その教育課程では、文系・理系双方の知識が必要とされます。併せて、現実の社会における様々な課題を発見・解決しようとする積極的姿勢や、様々な人びととの適切なコミュニケーションも求められます。

よって本学部では、文系・理系にかかわらず、堅固な基礎学力に加え、以下のような知識や能力を備えた入学者を受け入れたいと考えます。まず、本学部における広範な科目での学びの基礎となる数学の堅固な基礎知識とそれに基づく論理的な思考力です。また、本学部で様々な人びととの学びを通じて社会科学とデータサイエンスの知識を修得するためには、日本語及び英語を用いた読解力、説明力、表現力、思考力が必要です。

それらに加え、社会科学とデータサイエンスの知識を融合させる上では、入学前の様々な機会を通じた学習の結果として、社会において数理的なものの考え方を応用する能力や、情報技術の活用について自ら試行する姿勢を備えていることも望ましいと考えています。

２．入学者選抜の基本方針

上記のような能力を備えた学生を選抜するため、本学部では一般選抜及び学校推薦型選抜を実施します。

すべての選抜区分において、基礎学力が確かに身に付いていることを確認するため、大学入学共通テストで6教科の受験を課します。併せて、調査書を通じて学びへの意欲を確認します。

それに加えて、一般選抜前期日程では、上記の能力を幅広く確認するため、第2次試験で数学・国語・英語・総合問題を課します。

また、一般選抜後期日程では、特に数学・英語において上記の能力が高い学生を選抜するため、第2次試験で数学・英語の試験を課し、数学では数学Ⅲの範囲の問題も出題します。そして、学校推薦型選抜では、外国語、数学、情報学、統計学などの特定の分野における深い学びを資格・検定試験の結果で確認するとともに、応用力や学びへの姿勢を確認するため、小論文、面接試験、自己推薦書、推薦書を用いた選抜を実施します。

（全学部共通）

【「学力の3要素」の多面的・総合的な評価方法】

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査	○	○	
学校推薦型選抜	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書			○
	推薦書			○
	自己推薦書			○
外国学校出身者選抜	個別学力検査	○	○	
	面接	○	○	○
私費外国人留学生選抜	TOEFL	○	○	
	日本留学試験	○	○	
	個別学力検査	○	○	

（注）　○は、特に重視する要素

３　学部・学科

商 学 部　　経営学科・商学科
経済学部　　経済学科
法 学 部　　法律学科
社会学部　　社会学科
ソーシャル・データサイエンス学部　ソーシャル・データサイエンス学科

４　入学定員

学部	学科	入学定員	募集人員		
			一般選抜（前期日程）(注1)	一般選抜（後期日程）	学校推薦型選抜 (注2)
商学部	経営学科 商学科	258人 (注3)	243人	－	15人
経済学部	経済学科	258人	185人	58人	15人
法学部	法律学科	159人	149人	－	10人
社会学部	社会学科	220人	210人	－	10人
ソーシャル・データサイエンス学部	ソーシャル・データサイエンス学科	60人	30人	25人	5人
総計		955人	817人	83人	55人

〔募集人員〕

（注1）「前期日程」の募集人員には、各学部（ソーシャル・データサイエンス学部を除く。）とも外国学校出身者選抜（5人以内）を含みます。

（注2）学校推薦型選抜の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

（注3）商学部は、学科を区別せずに一括して募集し、第3学年進学時に配属します。

（注4）各学部とも入学定員に欠員が生じた場合は、追加合格の決定を行うことがあります。

〔併願等〕

（注5）入学志願者は、分離分割方式の「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つの計二つの大学・学部に出願することができます。したがって、「前期日程－後期日程」の併願はできますが、「前期日程－前期日程」、「後期日程－後期日程」の併願はできません。

（注6）本学の学部間または同一学部における学校推薦型選抜・「前期日程」・「後期日程」（経済学部及びソーシャル・データサイエンス学部）の併願は可能です。

５　出願資格

次に掲げる項目のいずれかに該当する者で、令和9(2027)年度大学入学共通テストのうち本学（学部）が指定する教科・科目のすべてを受験した者（本学では、大学入学共通テストの前年度の成績は利用しないので、 令和9(2027)年度大学入学共通テストを必ず受験すること)。ただし、外国学校出身者選抜、私費外国人留学生選抜においては大学入学共通テストを免除する。また、学校推薦型選抜、外国学校出身者選抜、私費外国人留学生選抜については、本要項の各選抜の項目も必ず参照すること。

１　高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）又は中等教育学校を卒業した者及び 令和9(2027)年3月卒業見込みの者

２　通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9(2027)年3月修了見込みの者

３　学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び 令和9(2027)年3月31日までにこれに該当する見込みの者

（注）上記3に該当する者は、次のとおりです。（詳細については入試課までお問い合わせください。）

(1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(4) 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号－大学入学に関し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定－）

(5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）で、 令和9(2027)年3月31日までに18歳に達するもの

(6) 本学において、個別の入学資格審査（*）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、 令和9(2027)年3月31日までに18歳に達するもの

(*) 本学で行う「個別の入学資格審査」は、令和8(2026)年9月4日（金）（必着）まで申請を受け付けます。ただし、大学入学共通テストを令和9(2027)年1月16日(土)、17日（日）に受験した者で、新たに本学の受験を希望する場合は、令和9(2027)年1月22日(金)（必着）まで受け付けます。詳細は、本学ウェブサイト「一橋大学で学びたい方へ」(https://juken.hit-u.ac.jp/admission/info/foreign_univ.html)をご参照ください。

６　障害等のある入学志願者への受験上の配慮について

本学では、障害等がある方の受験に対して合理的な配慮を行っており、そのための相談を常時受け付けています。

障害等があって、受験上の配慮を希望する場合、その内容によっては、本学が対応を決定するまでに時間を要することがあります。本学への出願を考えている場合には、それぞれ以下の期限までに以下の（1）により申請してください。

・私費外国人留学生選抜　　：令和8(2026)年11月9日(月)（必着）
・外国学校出身者選抜　　：令和8(2026)年11月20日(金)（必着）
・一般選抜及び学校推薦型選抜：令和8(2026)年12月18日(金)（必着）

なお、上記期限後の申請についても、引き続き配慮検討の対象になりますが、希望する配慮事項によっては対応が間に合わないことがありますので、事前にお電話等でご連絡いただくとともに、早めの申請を推奨します。

配慮の申請をした場合であっても、本学への出願が義務付けられるわけではありません。出願する、しないが未定であっても申請は可能です。

(1) 申請の方法

配慮の申請は、(2)の書式により申請書を作成の上、医師の診断書などの必要な書類を添付してメールにて提出してください（メールアドレスは本要項最終頁参照)。申請内容を検討の上、受験上の配慮の有無等を決定します。

※　提供いただいた個人情報は、配慮内容検討のために関係部署と共有します。
　　なお、必要な書類に不明な点がある場合は、提出前に入試課に確認してください。

(2) 書式（※A4判で作成のこと。）

次頁に書式を示します。書式データは本学ウェブサイト（https://juken.hit-u.ac.jp/admission/info/jizen_hairyo.html）からダウンロード可能です。

○ 修学上の配慮に関する相談について

修学上の配慮に関する相談窓口は以下のとおりです。

アクセシビリティ支援室：https://www.hit-u.ac.jp/shien/counseling/shougai/shougaishien.html

受験上の配慮に係る申請書　　書式

年　月　日

一橋大学入学者選抜実施専門委員会委員長　殿

受験に際し配慮を希望する事項について、必要書類を添付して申請します。

1　氏名（漢字・ふりがな）：
2　生年月日：　　年　　月　　日　（性別：　　）
3　住所：（〒　　）
4　電話番号:自宅(　　)携帯(　　)
5　メールアドレス：（※合格者発表後（3 月中旬以降）も連絡のとれるアドレスを記入すること。）
6　出身学校:　　（　　年　月　日　卒業・卒業見込※いずれかに○）
7　出身学校クラス担任：担任氏名（　　）
　　連絡先（電話）（　　）
8　志願予定選抜：一般選抜前期日程　・　一般選抜後期日程　・　学校推薦型選抜
　　外国学校出身者選抜　・　私費外国人留学生選抜　　※いずれかに○
9　志望学部：
10　障害等の区分・程度
　　区分［①視覚障害、②聴覚障害、③肢体不自由、④病弱、⑤発達障害、⑥その他］※いずれかに○
　　程度［　　］

11　受験に際し配慮を希望する種類と内容
　　配慮の種別［①解答方法、②試験時間、③座席、④持参して使用、⑤その他］
　　※いずれかに○
　　内容［　　］

12　添付書類：上記 10、11 の根拠となる資料を、スキャンデータ等によりメール添付してください。以下に資料の例を示します。
① 医師の診断書（写）
② 「大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書」（未着の場合、「大学入学共通テスト受験上の配慮事項審査結果通知書」。当該障害等に関連して大学入試センターから許可されている場合は、提出いただくことで対応決定がスムーズになる場合があります。）
③ 障害者手帳（写）※交付を受けている人は必須
④ 出身校等において受けた修学上の配慮に関する説明メモ（本人作成で可）
⑤ その他相談する際に必要と考えられる参考資料（写真・検査結果等）

7　入学者選抜方法等

(1) 一般選抜

日程	学部	学科	第2次試験：第2次試験を課する	第2次試験：実技検査等：実技検査を課する	第2次試験：実技検査等：面接を行う	第2次試験：実技検査等：小論文を課する	第2次試験：実技検査等：外国語におけるリスニングテストを課する	第2次試験：2段階選抜：主として、調査書の内容と大学入学共通テストの成績により第1段階の選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第2次試験：2段階選抜：第1段階の選抜による合格者数：募集人員に対する倍率	第2次試験：2段階選抜：第1段階の選抜による合格者数：その他	第2次試験の日程	備考（欠員の補充方法等）
前期日程	商学部	経営学科	○	×	×	×	×	○	学部別に約3倍	×	令和9（2027）年2月25日 2月26日	欠員が生じた場合は、追加合格者の決定を行うことがある。
		商学科										
	経済学部	経済学科										
	法学部	法律学科										
	社会学部	社会学科										
	ソーシャル・データサイエンス学部	ソーシャル・データサイエンス学科										
後期日程	商学部	経営学科	実施しない								—	—
		商学科										
	経済学部	経済学科	○	×	×	×	×	○	約6倍	×	令和9（2027）年3月12日	欠員が生じた場合は、追加合格者の決定を行うことがある。
	法学部	法律学科	実施しない								—	—
	社会学部	社会学科										
	ソーシャル・データサイエンス学部	ソーシャル・データサイエンス学科	○	×	×	×	×	○	約6倍	×	令和9（2027）年3月12日	欠員が生じた場合は、追加合格者の決定を行うことがある。

(2) 学校推薦型選抜等

学部	学科	学校推薦型選抜：入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、個別学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する：個別学力検査を免除し、大学入学共通テストを課する	学校推薦型選抜：入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、個別学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する：個別学力検査及び大学入学共通テストを免除する	学校推薦型選抜：入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、個別学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する：実技検査等：実技検査を課する	実技検査等：面接を行う	実技検査等：小論文を課する	実技検査等：外国語におけるリスニングテストを課する	実技検査等：その他	学校推薦型選抜 募集人員	専門高校・総合学科卒業生入試	アドミッション・オフィス入試	外国学校出身者、社会人等のための特別選抜：外国学校出身者	外国人留学生	中国引揚者等子女	社会人	備考
商学部	経営学科	○	×	×	○	○	×	×	15	実施しない		○	○	実施しない		
	商学科															
経済学部	経済学科								15							
法学部	法律学科								10							
社会学部	社会学科								10							
ソーシャル・データサイエンス学部	ソーシャル・データサイエンス学科								5			実施しない	実施しない			

８　今年度以降の入学者選抜に係る予告事項

本学入学者選抜の実施方法等について変更等がある場合、本学ウェブサイト〈https://juken.hit-u.ac.jp/admission/info/henkou.html〉で随時発表します。

なお、本要項公開時点では、変更等の予定はありません。

９　一般選抜（前期日程・後期日程）の日程等

【前期日程】

(1) 出願期間

令和9(2027)年1月25日(月)～令和9(2027)年2月3日(水)　必着

(2) 第1段階選抜合格者発表日

令和9(2027)年2月10日(水)

(3) 試験日程

令和9(2027)年2月25日(木)・26日(金)

(4) 合格者発表日

令和9(2027)年3月10日(水)

【後期日程】

(1) 出願期間

令和9(2027)年1月25日(月)～令和9(2027)年2月3日(水)　必着

(2) 第1段階選抜合格者発表日

令和9(2027)年2月22日(月)

(3) 試験日程

令和9(2027)年3月12日(金)

(4) 合格者発表日

令和8(2027)年3月23日(火)

10　一般選抜（前期日程・後期日程）の実施教科・科目等

【前期日程】

学部・学科名	大学入学共通テスト（注1）			第2次試験（注2）			大学入学共通テスト・第2次試験の配点等（注3）									当該学部が実施する特別選抜
	教科	ｸﾞﾙｰﾌﾟ	科目名等	教科等	科目名等	倍率	試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	配点合計	
商学部 経営学科 商学科	国語		「国語」	国語	「現代の国語」・「言語文化」	約3倍	共通テスト	50	50	50	50	50	50	－	300	
							第2次試験	110	125	230	－	235	－	－	700	
	地理歴史 公民		「地理総合，地理探究」・「歴史総合，日本史探究」・「歴史総合，世界史探究」・「公共，倫理」・「公共，政治・経済」 から2 ※ただし、「公共，倫理」と「公共，政治・経済」の組合せを選択することはできません。	数学	「数学Ⅰ」・「数学Ⅱ」・「数学A」（全範囲）「数学B」（数列）・「数学C」（ベクトル）		計	160	175	280	50	285	50	－	1,000	
経済学部 経済学科							共通テスト	35	35	35	35	35	35	－	210	
				外国語	「英語」（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ） (聞き取り・書き取り試験は行いません。)		第2次試験	110	160	260	－	260	－	－	790	外国学校出身者選抜
							計	145	195	295	35	295	35	－	1,000	
	数学	① ②	「数学Ⅰ，数学A」 「数学Ⅱ，数学B，数学C」													
法学部 法律学科							共通テスト	40	50	50	40	40	30	－	250	私費外国人留学生選抜
							第2次試験	120	170	180	－	280	－	－	750	
	理科		「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」・「物理」・「化学」・「生物」・「地学」 から1				計	160	220	230	40	320	30	－	1,000	
				地理歴史	「地理総合，地理探究」・「歴史総合，日本史探究」・「歴史総合，世界史探究」 から1											学校推薦型選抜
社会学部 社会学科							共通テスト	20	20	20	90	20	10	－	180	
	外国語		「英語」・「ドイツ語」・「フランス語」・「中国語」・「韓国語」 から1 (英語は、リスニングを含みます。)				第2次試験	180	230	130	－	280	－	－	820	
							計	200	250	150	90	300	10	－	1,000	
	情報		「情報Ⅰ」													
ｿｰｼｬﾙ・ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学部 ｿｰｼｬﾙ・ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学科	国語		上記4学部と同じ	国語	上記4学部と同じ		共通テスト	40	60 又は 30	40	30 又は 60	40	40	－	250	
	地理歴史 公民		「地理総合，地理探究」・「歴史総合，日本史探究」・「歴史総合，世界史探究」・「公共，倫理」・「公共，政治・経済」 から2又は1 ※ただし、「公共，倫理」と「公共，政治・経済」の組合せを選択することはできません。 ※注1(2)参照	数学	上記4学部と同じ		第2次試験	100	－	330	－	230	－	90	750	
							計	140	60 又は 30	370	30 又は 60	270	40	90	1,000	
				外国語	上記4学部と同じ											
	数学		上記4学部と同じ	総合問題	社会において数理的なものの考え方を応用する力、情報技術の活用について自ら試行する姿勢を確認します。											学校推薦型選抜
	理科		「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」・「物理」・「化学」・「生物」・「地学」 から1又は2 ※注1(2)参照													
	外国語		上記4学部と同じ													
	情報		上記4学部と同じ													

(注1)「大学入学共通テスト」欄

(1)　【商学部・経済学部・法学部・社会学部】
理科を2科目受験している場合は、第1解答科目（前半に受験した科目）の成績を用います。

(2)　【ソーシャル・データサイエンス学部】
地理歴史・公民及び理科の選択パターンは以下の2種類となり、合計点が最大となる組み合わせを用いて選抜を行います。
（ア）地理歴史・公民から2科目＋「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」・「物理」・「化学」・「生物」・「地学」から1科目
（イ）地理歴史・公民から1科目＋「物理」・「化学」・「生物」・「地学」から2科目

(注2)「第2次試験」欄

(1)「外国語」は第2次試験では「英語」に読み替えます。

(2) 2段階選抜における第1段階の選抜方法は、本学（学部）が指定する大学入学共通テストの教科・科目の得点を合計したもの（素点。ただし英語はリーディング・リスニングの素点を合計した200点満点（『リスニング』の受験を免除された者については、リーディング（100点満点）の成績を、リーディング（200点満点）に換算）。）を受験者の成績とし、学部別に高得点順に一定数（募集人員の約3倍）を合格者とします。

(注3)「配点等」欄

(1)大学入学共通テストにおける外国語について、「英語」を選択した上で『リスニング』の受験を免除された者については、リーディング（100点満点）の成績を、リーディング（200点満点）に換算した得点を素点とします。

(2)ソーシャル・データサイエンス学部における大学入学共通テストの配点は、地理歴史・公民から2科目用いる場合（注1(2)の(ア)）は上段の配点、地理歴史・公民から1科目用いる場合（注1(2)の(イ)）は下段の配点となります。

【後期日程】

学部・学科名	大学入学共通テスト（注1）			第2次試験（注2）			大学入学共通テスト・第2次試験の配点等（注3）							
	教科	ｸﾞﾙｰﾌﾟ	科目名等	教科等	科目名等	倍率	試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	情報	配点 合計
経済学部 経済学科	国語		「国語」	数学	「数学Ⅰ」・「数学Ⅱ」・「数学Ⅲ」・「数学A」（全範囲）・「数学B」（数列）・「数学C」（ベクトル）（なお、「数学Ⅲ」を学習していない受験者が不利にならないように、選択問題を用いる等の十分な配慮をします。）	約6倍	共通テスト	35	35	35	30	35	30	200
	地理歴史 公民		「地理総合，地理探究」・「歴史総合，日本史探究」・「歴史総合，世界史探究」・「公共，倫理」・「公共，政治・経済」 から1				第2次試験	－	－	400	－	400	－	800
	数学	① ②	「数学Ⅰ，数学A」 「数学Ⅱ，数学B，数学C」	外国語	「英語」（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ） （聞き取り・書き取り試験は行いません。）		計	35	35	435	30	435	30	1,000
ｿｰｼｬﾙ・ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学部 ｿｰｼｬﾙ・ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学科	理科		「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」・「物理」・「化学」・「生物」・「地学」 から1				共通テスト	35	30	35	30	35	35	200
							第2次試験	－	－	500	－	300	－	800
	外国語		「英語」・「ドイツ語」・「フランス語」・「中国語」・「韓国語」 から1 （英語は、リスニングを含みます。）				計	35	30	535	30	335	35	1,000
	情報		「情報Ⅰ」											

（注1）「大学入学共通テスト」欄
(1) 地理歴史・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目（前半に受験した科目）の成績を用います。
(2) 理科を2科目受験している場合は、第1解答科目（前半に受験した科目）の成績を用います。

（注2）「第2次試験」欄
(1)「数学Ⅲ」を学習していない受験者が不利にならないように、選択問題を用いる等の十分な配慮をします。
(2) 外国語は、第2次試験では「英語」に読み替えます。
(3) 2段階選抜における第1段階の選抜方法は、本学（学部）が指定する大学入学共通テストの教科・科目の得点を合計したもの（素点。ただし英語はリーディング・リスニングの素点を合計した200点満点（『リスニング』の受験を免除された者については、リーディング（100点満点）の成績を、リーディング（200点満点）に換算）。）を受験者の成績とし、学部別に高得点順に一定数（募集人員の約6倍）を合格者とします。

（注3）「配点等」欄
(1) 大学入学共通テストにおける外国語について、「英語」を選択した上で『リスニング』の受験を免除された者については、リーディング（100点満点）の成績を、リーディング（200点満点）に換算した得点を素点とします。

11　学校推薦型選抜

(1) 商学部　経営学科・商学科

○　募集人員　15人

○　出願資格

(a) 令和9(2027)年度大学入学共通テストのうち本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する教科・科目のすべてを受験した者で、(b)次に掲げる項目に該当し、(c)高等学校長又は中等教育学校長が責任を持って推薦できる者

①　高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9(2027)年3月卒業見込みの者

②　合格した場合は、入学することを確約できる者

なお、大学入学共通テストの受験教科・科目に関する(a)に該当しない場合でも、別表の第2欄に指定する教科・科目のすべてを受験した者は、(a)に該当する者とみなす。

○　出願要件

次の(A)～(G)のいずれかに該当する者

(A) 実用英語技能検定（英検）1級、TOEFL iBTスコア93点以上（2026年1月20日以前の試験）又は、バンドスコア5以上（2026年1月21日以降の試験）、IELTS（ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾓｼﾞｭｰﾙ）Overall Band Score 6.5以上のいずれかを取得している。

※　TOEFL iBT Special Home Edition、TOEFL iBT Home Edition及びIELTS Onlineによるスコアは、本学受験のための利用を認めます。

※　TOEFL iBTのMy Best Score及びIELTSのOne Skill Retakeは、本学受験のための利用を認めません。

(B) ドイツ語技能検定試験（独検）準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠（GER）が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(C) 実用フランス語技能検定試験（仏検）準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠（CECRL）が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(D) 中国語検定試験（中検）準1級以上又はHSK6級200点以上のスコアを取得している。

(E) 日本数学オリンピックで予選通過（Ａランク取得者）又は、Ｂランク上位者*

＊ 第36回（2025年11月）は6点、第35回（2025年1月）は5点取得。
第34回以前の点数については、本要項最終頁記載の問い合わせ先に確認すること。

※　オンラインで実施された第31回（2021年1月）及び第32回（2022年1月）予選の受験者については、以下を条件に要件を満たすものとして取り扱います。

①第31回は4点以上、第32回は6点以上を取得しており、それを証明する書類を提出できること。

②令和8(2026)年11月20日(金)までに本学入試課にメール(本要項最終頁記載)にて連絡の上、所定の審査を受けていること。
審査に当たっては①の証明書類及び日本数学オリンピック予選の得点にかかる誓約書（本学様式）をご提出いただきます。審査をご希望の方はお問い合わせください。

(F) 応用情報技術者試験（旧ソフトウェア開発技術者試験）に合格している。
(G) 日商簿記検定試験1級を取得している。

○ 選抜方法等

・ 第1段階選抜

本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する令和9(2027)年度大学入学共通テストの教科・科目の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位258位相当の得点以上であった者を合格者とします。

なお、別表の第1欄に指定した教科・科目のすべてを受験しなかった者でも、第2欄に指定した教科・科目のすべてを受験した者については、第2欄の教科・科目の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位258位相当の得点以上であった者を合格者とします。

・ 第2次試験

推薦書、調査書などの提出書類並びに小論文、面接試験及び大学入学共通テスト成績により入学志願者の能力、学習意欲、適性等を総合的に判定します。

小論文は、大きなテーマについて論じさせることにより、構想力、論理的思考力、分析力、表現力、独創力などを多面的にみます。

○ 大学入学共通テスト・第2次試験の配点等

教科等	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	推薦書 調査書	自己 推薦書	合計
大学入学 共通テスト	50	50		50	50	50	50					300
第2次試験								250	150	40	10	450

出願期間		令和9(2027)年1月18日(月)～1月29日(金)必着
第1段階選抜	合格者発表	令和9(2027)年2月 5日(金)
第2次試験		令和9(2027)年2月 8日(月)
第2次試験	合格者発表	令和9(2027)年2月10日(水)

(2) 経済学部　経済学科

○　募集人員　15人

○　出願資格

(a) 令和9(2027)年度大学入学共通テストのうち本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する教科・科目のすべてを受験した者で、(b)次に掲げる項目に該当し、(c)高等学校長又は中等教育学校長が責任を持って推薦できる者

①　高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9(2027)年3月卒業見込みの者

②　合格した場合は、入学することを確約できる者

なお、大学入学共通テストの受験教科・科目に関する(a)に該当しない場合でも、別表の第2欄に指定する教科・科目のすべてを受験した者は、(a)に該当する者とみなす。

○　出願要件

次の(A)～(E)のいずれかに該当する者

(A) 実用英語技能検定（英検）1級、TOEFL iBTスコア93点以上（2026年1月20日以前の試験）又は、バンドスコア5以上（2026年1月21日以降の試験）、IELTS（ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾓｼﾞｭｰﾙ）Overall Band Score 6.5以上のいずれかを取得している。

※　TOEFL iBT Special Home Edition、TOEFL iBT Home Edition及びIELTS Onlineによるスコアは、本学受験のための利用を認めます。

※　TOEFL iBTのMy Best Score及びIELTSのOne Skill Retakeは、本学受験のための利用を認めません。

(B) ドイツ語技能検定試験（独検）準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠（GER）が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(C) 実用フランス語技能検定試験（仏検）準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠（CECRL）が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(D) 中国語検定試験（中検）準1級以上又はHSK6級200点以上のスコアを取得している。

(E) 日本数学オリンピックで予選通過（Ａランク取得者）又は、Ｂランク上位者*

＊ 第36回（2025年11月）は6点、第35回（2025年1月）は5点取得。
第34回以前の点数については、本要項最終頁記載の問い合わせ先に確認すること。

※　オンラインで実施された第31回（2021年1月）及び第32回（2022年1月）予選の受験者については、以下を条件に要件を満たすものとして取り扱います。

①第31回は4点以上、第32回は6点以上を取得しており、それを証明する書類を提出できること。

②令和8(2026)年11月20日(金)までに本学入試課にメール(本要項最終頁記載)にて連絡の上、所定の審査を受けていること。

審査に当たっては①の証明書類及び日本数学オリンピック予選の得点にかかる誓約書（本学様式）をご提出いただきます。審査をご希望の方はお問い合わせください。

○　選抜方法等

・　第1段階選抜

本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する令和9(2027)年度大学入学共通テストの教科・科目の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位258位相当の得点以上であった者を合格者とします。

なお、別表の第1欄に指定した教科・科目のすべてを受験しなかった者でも、第2欄に指定した教科・科目のすべてを受験した者については、第2欄の教科・科目の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位258位相当の得点以上であった者を合格者とします。

・　第2次試験

推薦書、調査書などの提出書類並びに小論文、面接試験及び大学入学共通テスト成績により入学志願者の能力、学習意欲、適性等を総合的に判定します。

小論文は、大きなテーマについて論じさせることにより、構想力、論理的思考力、分析力、表現力、独創力などを多面的にみます。

○　大学入学共通テスト・第2次試験の配点等

教科等	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	推薦書 調査書	自己 推薦書	合計
大学入学 共通テスト	45	45		45	35	45	35					250
第2次試験								300	150	40	10	500

出願期間	令和9(2027)年1月18日(月)～1月29日(金)必着
第1段階選抜　合格者発表	令和9(2027)年2月　5日(金)
第2次試験	令和9(2027)年2月　8日(月)
第2次試験　　合格者発表	令和9(2027)年2月10日(水)

(3) 法学部　法律学科

○　募集人員　10人

○　出願資格

(a) 令和9(2027)年度大学入学共通テストのうち本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する教科・科目のすべてを受験した者で、(b)次に掲げる項目に該当し、(c)高等学校長又は中等教育学校長が責任を持って推薦できる者

①　高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9(2027)年3月卒業見込みの者

②　合格した場合は、入学することを確約できる者

なお、大学入学共通テストの受験教科・科目に関する(a)に該当しない場合でも、別表の第2欄に指定する教科・科目のすべてを受験した者は、(a)に該当する者とみなす。

○　出願要件

次の(A)～(E)のいずれかに該当する者

(A) 実用英語技能検定（英検）1級、TOEFL iBTスコア93点以上（2026年1月20日以前の試験）又は、バンドスコア5以上（2026年1月21日以降の試験）、IELTS（ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾓｼﾞｭｰﾙ）Overall Band Score 6.5以上のいずれかを取得している。

※　TOEFL iBT Special Home Edition、TOEFL iBT Home Edition及びIELTS Onlineによるスコアは、本学受験のための利用を認めます。

※　TOEFL iBTのMy Best Score及びIELTSのOne Skill Retakeは、本学受験のための利用を認めません。

(B) ドイツ語技能検定試験（独検）準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠（GER）が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(C) 実用フランス語技能検定試験（仏検）準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠（CECRL）が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(D) 中国語検定試験（中検）準1級以上又はHSK6級200点以上のスコアを取得している。

(E) 日本数学オリンピックで予選通過（Ａランク取得者）又は、Ｂランク上位者*

＊ 第36回（2025年11月）は6点、第35回（2025年1月）は5点取得。
第34回以前の点数については、本要項最終頁記載の問い合わせ先に確認すること。

※　オンラインで実施された第31回（2021年1月）及び第32回（2022年1月）予選の受験者については、以下を条件に要件を満たすものとして取り扱います。

①第31回は4点以上、第32回は6点以上を取得しており、それを証明する書類を提出できること。

②令和8(2026)年11月20日(金)までに本学入試課にメール(本要項最終頁記載)にて連絡の上、所定の審査を受けていること。

審査に当たっては①の証明書類及び日本数学オリンピック予選の得点にかかる誓約書（本学様式）をご提出いただきます。審査をご希望の方はお問い合わせください。

○　選抜方法等

・　第1段階選抜

本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する令和9(2027)年度大学入学共通テストの教科・科目の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位159位相当の得点以上であった者を合格者とします。

なお、別表の第1欄に指定した教科・科目のすべてを受験しなかった者でも、第2欄に指定した教科・科目のすべてを受験した者については、第2欄の教科・科目の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位159位相当の得点以上であった者を合格者とします。

・　第2次試験

推薦書、調査書などの提出書類並びに小論文、面接試験及び大学入学共通テスト成績により入学志願者の能力、学習意欲、適性等を総合的に判定します。

小論文は、大きなテーマについて論じさせることにより、構想力、論理的思考力、分析力、表現力、独創力などを多面的にみます。

○　大学入学共通テスト・第2次試験の配点等

教科等	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	推薦書 調査書	自己 推薦書	合計
大学入学 共通テスト	40	50		50	40	40	30					250
第2次試験								300	150	40	10	500

出願期間	令和9(2027)年1月18日(月)～1月29日(金)必着
第1段階選抜　合格者発表	令和9(2027)年2月　5日(金)
第2次試験	令和9(2027)年2月　8日(月)
第2次試験　　合格者発表	令和9(2027)年2月10日(水)

(4) 社会学部　社会学科

○　募集人員　10人

○　出願資格

(a) 令和9(2027)年度大学入学共通テストのうち本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する教科・科目のすべてを受験した者で、(b)次に掲げる項目に該当し、(c)高等学校長又は中等教育学校長が責任を持って推薦できる者

①　高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9(2027)年3月卒業見込みの者

②　合格した場合は、入学することを確約できる者

なお、大学入学共通テストの受験教科・科目に関する(a)に該当しない場合でも、別表の第2欄に指定する教科・科目のすべてを受験した者は、(a)に該当する者とみなす。

○　出願要件

次の(A)～(F)のいずれかに該当する者

(A) 実用英語技能検定（英検）1級、TOEFL iBTスコア93点以上（2026年1月20日以前の試験）又は、バンドスコア5以上（2026年1月21日以降の試験）、IELTS（ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾓｼﾞｭｰﾙ）Overall Band Score 6.5以上のいずれかを取得している。

※　TOEFL iBT Special Home Edition、TOEFL iBT Home Edition及びIELTS Onlineによるスコアは、本学受験のための利用を認めます。

※　TOEFL iBTのMy Best Score及びIELTSのOne Skill Retakeは、本学受験のための利用を認めません。

(B) ドイツ語技能検定試験（独検）準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠（GER）が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(C) 実用フランス語技能検定試験（仏検）準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠（CECRL）が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(D) 中国語検定試験（中検）準1級以上又はHSK6級200点以上のスコアを取得している。

(E) 日本数学オリンピックで予選通過（Ａランク取得者）又は、Ｂランク上位者*

＊ 第36回（2025年11月）、第35回（2025年1月）は5点取得。第34回以前の点数については、本要項最終頁記載の問い合わせ先に確認すること。

※　オンラインで実施された第31回（2021年1月）及び第32回（2022年1月）予選の受験者については、以下を条件に要件を満たすものとして取り扱います。

①第31回は4点以上、第32回は6点以上を取得しており、それを証明する書類を提出できること。

②令和8(2026)年11月20日(金)までに本学入試課にメール(本要項最終頁記載)にて連絡の上、所定の審査を受けていること。

審査に当たっては①の証明書類及び日本数学オリンピック予選の得点にかかる誓約書（本学様式）をご提出いただきます。審査をご希望の方はお問い合わせください。

(F) 応用情報技術者試験（旧ソフトウェア開発技術者試験）に合格している。

○　選抜方法等

・　第1段階選抜

本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する令和9(2027)年度大学入学共通テストの教科・科目の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位220位相当の得点以上であった者を合格者とします。

なお、別表の第1欄に指定した教科・科目のすべてを受験しなかった者でも、第2欄に指定した教科・科目のすべてを受験した者については、第2欄の教科・科目の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位220位相当の得点以上であった者を合格者とします。

・　第2次試験

推薦書、調査書などの提出書類並びに小論文、面接試験及び大学入学共通テスト成績により入学志願者の能力、学習意欲、適性等を総合的に判定します。

小論文は、大きなテーマについて論じさせることにより、構想力、論理的思考力、分析力、表現力、独創力などを多面的にみます。

○　大学入学共通テスト・第2次試験の配点等

教科等	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	推薦書 調査書	自己 推薦書	合計
大学入学 共通テスト	50	50		50	50	50	50					300
第2次試験								300	120	20	10	450

出願期間	令和9(2027)年1月18日(月)～1月29日(金)必着
第1段階選抜　合格者発表	令和9(2027)年2月　5日(金)
第2次試験	令和9(2027)年2月　8日(月)
第2次試験　　合格者発表	令和9(2027)年2月10日(水)

(5) ソーシャル・データサイエンス学部　ソーシャル・データサイエンス学科

○　募集人員　5人

○　出願資格

(a) 令和9(2027)年度大学入学共通テストのうち本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する教科・科目のすべてを受験した者で、(b)次に掲げる項目に該当し、(c)高等学校長又は中等教育学校長が責任を持って推薦できる者

①　高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9(2027)年3月卒業見込みの者

②　合格した場合は、入学することを確約できる者

なお、大学入学共通テストの受験教科・科目に関する(a)について、別表の第1欄と第2欄の両方に該当する場合は、点数が高い方の成績を用いる。

○　出願要件

次の(A)～(J)のいずれかに該当する者

(A) 実用英語技能検定（英検）1級、TOEFL iBTスコア93点以上（2026年1月20日以前の試験）又は、バンドスコア5以上（2026年1月21日以降の試験）、IELTS（ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾓｼﾞｭｰﾙ）Overall Band Score 6.5以上のいずれかを取得している。

※　TOEFL iBT Special Home Edition、TOEFL iBT Home Edition及びIELTS Onlineによるスコアは、本学受験のための利用を認めます。

※　TOEFL iBTのMy Best Score及びIELTSのOne Skill Retakeは、本学受験のための利用を認めません。

(B) ドイツ語技能検定試験（独検）準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠（GER）が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(C) 実用フランス語技能検定試験（仏検）準１級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠（CECRL）が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(D) 中国語検定試験（中検）準1級以上又はHSK6級200点以上のスコアを取得している。

(E) 日本数学オリンピックで予選通過（Ａランク取得者）又は、Ｂランク上位者*

＊ 第36回（2025年11月）は6点、第35回（2025年1月）は5点取得。
第34回以前の点数については、本要項最終頁記載の問い合わせ先に確認すること。

※　オンラインで実施された第31回（2021年1月）及び第32回（2022年1月）予選の受験者については、以下を条件に要件を満たすものとして取り扱います。

①第31回は4点以上、第32回は6点以上を取得しており、それを証明する書類を提出できること。

②令和8(2026)年11月20日(金)までに本学入試課にメール(本要項最終頁記載)にて連絡の上、所定の審査を受けていること。
審査に当たっては①の証明書類及び日本数学オリンピック予選の得点にかかる誓約書（本学様式）をご提出いただきます。審査をご希望の方はお問い合わせください。

(F) 応用情報技術者試験（旧ソフトウェア開発技術者試験）に合格している。

(H) 日本情報オリンピックの予選Ａランク取得者。

(I) 統計検定2級にＡ評価以上で合格もしくは1級の「統計数理」に合格している。

(J) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を授与されている。

※(G)は当学部においては欠番です。

○ 選抜方法等

・ 第1段階選抜

本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する令和9(2027)年度大学入学共通テストの教科・科目の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点とします。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第1段階選抜における上位60位相当の得点以上であった者を合格者とします。

・ 第2次試験

推薦書、調査書などの提出書類並びに小論文、面接試験及び大学入学共通テスト成績により入学志願者の能力、学習意欲、適性等を総合的に判定します。

小論文は、大きなテーマについて論じさせることにより、構想力、論理的思考力、分析力、表現力、独創力などを多面的にみます。

○ 大学入学共通テスト・第2次試験の配点等

教科等	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	推薦書 調査書	自己 推薦書	合計
大学入学共通テスト	50	50		50	50	50	50					300
第2次試験								250	150	40	10	450

出願期間	令和9(2027)年1月18日(月)～1月29日(金)必着
第1段階選抜 合格者発表	令和9(2027)年2月 5日(金)
第2次試験	令和9(2027)年2月 8日(月)
第2次試験 合格者発表	令和9(2027)年2月10日(水)

別表

学校推薦型選抜に係る令和9(2027)年度大学入学共通テストの利用教科・科目名

教科	ｸﾞﾙｰﾌﾟ	出願科目	第1欄		第2欄	
			受験科目数		受験科目数	
国語		「国語」	◎	1	◎	1
地理歴史 公民		「地理総合，地理探究」 「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」 「公共，倫理」 「公共，政治・経済」 ※ただし、「公共，倫理」と「公共，政治・経済」の組合せを選択することはできません。	○ ○ ○ ○ ○	2	○ ○ ○ ○ ○	1
数学	①	「数学Ⅰ，数学A」	◎	1	◎	1
	②	「数学Ⅱ，数学B，数学C」	◎	1	◎	1
理科		「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」	○	から1		
		「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○	2
外国語		「英語」(リスニングを含みます。) 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	○ ○ ○ ○ ○	1	○ ○ ○ ○ ○	1
情報		「情報Ⅰ」	◎	1	◎	1

※1　◎印は入学志願者全員が受験しなければならない科目を意味し、○印は出願教科・科目区分欄ごとに、受験科目数欄の数だけ科目を選んで受験しなければならないことを意味します。

※2　第1欄と第2欄について

【商学部・経済学部・法学部・社会学部】

第1欄は、本学部が一般選抜前期日程試験において指定する教科・科目と一致しています。第1欄の要件を満たさない入学志願者についてのみ、第2欄を適用します。したがって、地理歴史・公民の中から2科目を受験した者は、「物理」・「化学」・「生物」・「地学」から2科目受験していても、第1欄が適用されます。

第1欄適用者が理科を2科目受験している場合は、第1解答科目（前半に受験した科目）の成績を用います。

【ソーシャル・データサイエンス学部】

第1欄及び第2欄の両方の要件を満たす入学志願者については、得点の高い方の成績を用います。

第1欄適用の場合の得点は、理科を2科目受験しているときはそのうち得点の高い方の成績を用います。第2欄適用の場合の得点は、地理歴史・公民を2科目受験しているときはそのうち得点の高い方の成績を用います。

※3　英語の得点は、リーディング・リスニングの素点を合計した200点満点とします。

※4　本学がこの表の第1欄又は第2欄で指定する令和8年度大学入学共通テストの教科・科目の全てを受験していない者は無資格者として扱い、第2次試験の受験は認めません。

12　外国学校出身者選抜

(1) 実施学部・学科名

商 学 部　　経営学科・商学科
経済学部　　経済学科
法 学 部　　法律学科
社会学部　　社会学科

(2) 募集人員

上記の各学部 5人以内

(3) 出願資格

次の①～③の要件をすべて満たす者

① 日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を取得している者で、次のア～キのいずれかに該当するもの

ア 外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。）を令和8（2026）年4月1日から令和9（2027）年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ 外国においてスイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を令和8（2026）年4月1日から令和9（2027）年3月31日に授与された者

ウ 外国においてドイツ連邦共和国の各州で大学入学資格として認められているアビトゥア資格を令和8（2026）年4月1日から令和9（2027）年3月31日に授与された者

エ 外国においてフランス共和国で大学入学資格として認められているバカロレア資格を令和8（2026）年4月1日から令和9（2027）年3月31日に授与された者オ 外国においてグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国で大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Advanced Level）資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を令和8（2026）年4月1日から令和9（2027）年3月31日に授与された者

カ 外国において欧州連合構成国で大学入学資格として認められているヨーロピアン・バカロレア資格を令和8（2026）年4月1日から令和9（2027）年3月31日に授与された者

キ 外国において文部科学省が認めた以下の国際的な評価団体から教育活動等にかかる認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を令和8（2026）年4月1日から令和9（2027）年3月31日に卒業（修了）した者

・ウエスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ
・アソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル
・カウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ
・ニューイングランド・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ
・コグニア
・ノース・セントラル・アソシエーション・コミッション・オン・アクレディテーショ

ン・アンド・スクール・インプルーブメント
・ノースウェスト・アクレディテーション・コミッション
・サザン・アソシエーション・オブ・カレッジズ・アンド・スクールズ・カウンシル・オン・アクレディテーション・アンド・スクール・インプルーブメント

② 外国の高等学校相当の学校において、最終学年を含めて2学年（各学年期の始業月から終業月まで）以上継続して在学した者及び在学見込みの者（飛び級等を含みます。）で、当該学年の必要な単位を修得し課程を修了したもの及び修了見込みのもの。

ただし、外国に設置された学校であっても日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校並びに日本国内のインターナショナルスクール及びアメリカンスクールなどに在学した期間は含まれません。

③ 渡航の開始が保護者（成年の場合、「父母等」と読み替える。）の海外勤務等のやむを得ない事情によるものであること。

(4) 選抜方法等

○ 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、第1次選抜と第2次選抜に分けて実施します。

① 第1次選抜は、学力試験及び出願書類審査により行います。

② 第2次選抜は、第1次選抜合格者に対する面接及び上記①の学力試験の成績等を総合して行います。

○ 学力試験の教科・科目

① 外国語

英語（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ）（聞き取り・書き取り試験は行いません。）

② 小論文

社会・文化に関する論文又は資料等を示して理解力、判断力、表現力などをみます。

○ 配点

	外国語	小論文	面　接	合　計
第1次選抜	100	100	―	200
第2次選抜	100	100	100	300

出願期間	令和8(2026)年11月20日(金)～12月 2日(水)　必着
第1次選抜	令和9(2027)年 2月26日(金)
第1次選抜　合格者発表	令和9(2027)年 3月 1日(月)
第2次選抜	令和9(2027)年 3月 3日(水)
第2次選抜　合格者発表	令和9(2027)年 3月10日(水)

13　私費外国人留学生選抜

(1) 実施学部・学科名

商 学 部　　経営学科・商学科
経済学部　　経済学科
法 学 部　　法律学科
社会学部　　社会学科

(2) 募集人員

上記の各学部 若干名

(3) 出願資格

次の①～③の要件をすべて満たす者

① 日本国籍を有しない者のうち日本国の永住許可を取得していない者で、次のア～キのいずれかに該当するもの

ア 外国において学校教育における12年の課程を2027年3月31日までに修了した者及び修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（例：大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」合格者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの。）

なお、「学校教育における12年の課程」とは、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであり、修了により当該国の大学への受験資格を得られることを要します。

イ 外国においてスイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を2027年3月31日までに授与された者

ウ 外国においてドイツ連邦共和国の各州で大学入学資格として認められているアビトゥア資格を2027年3月31日までに授与された者

エ 外国においてフランス共和国で大学入学資格として認められているバカロレア資格を2027年3月31日までに授与された者

オ 外国においてグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国で大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Advanced Level）資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を2027年3月31日までに授与された者

カ 外国において欧州連合構成国で大学入学資格として認められているヨーロピアン・バカロレア資格を2027年3月31日までに授与された者

キ 外国において文部科学省が認めた以下の国際的な評価団体から教育活動等にかかる認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を2027年3月31日までに卒業（修了）した者

・ウエスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ
・アソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル
・カウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ

・ニューイングランド・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ
・コグニア
・ノース・セントラル・アソシエーション・コミッション・オン・アクレディテーション・アンド・スクール・インプルーブメント
・ノースウェスト・アクレディテーション・コミッション
・サザン・アソシエーション・オブ・カレッジズ・アンド・スクールズ・カウンシル・オン・アクレディテーション・アンド・スクール・インプルーブメント

※　ここでいう「外国」とは、「地図上の外国」を指します。

※　日本の小学校・中学校・高等学校に在学していたことがある者は、その期間が4年以内であれば、この要件に該当するものとします。ただし、この場合においても、高等学校の在学期間は1年以内とします。

② 2025年2月1日から2026年10月31日にTOEFL（iBT）を受験しており、**2026年1月20日以前の試験で48点以上、2026年1月21日以降の試験でバンドスコア3以上の成績を修め**、Official Score Report(s)（ETS事務局から一橋大学（DI Code：0436）へ直送する手続きが必要）を提出できる者

※　TOEFL iBT Home Editionによるスコアは、本学受験のための利用を認めます。

※　TOEFL iBTのMy Best Scoreは、本学受験のための利用を認めません。

③ 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験（日本語、総合科目、数学（コース1））」を、2025年度第1回から2026年度第1回までに日本語又は英語いずれかの言語により受験し、**日本語（記述を除く。）、総合科目、数学（コース1）の合計点が680点以上である者**

※　出願資格等で不明な点がある場合は、必ず事前に相談してください。

(4) 選抜方法等

○　選抜方法

学力試験〔日本語（※）〕の成績及び提出書類等により総合的に判断して行います。

※　日本語は、社会・文化に関する論文等を示して、日本語の作文力、読解力などをみます。

○　日本留学試験、TOEFL、本学学力試験の配点

区分	科目	満点	本学配点
日本留学試験	日本語	400	300
	総合科目	200	400
	数学（コース1）	200	300
	小計	800	1,000
英語	TOEFL（iBT）**（2026年1月20日以前の試験）**	120	420
	TOEFL（iBT）**（2026年1月21日以降の試験）**	6 （バンドスコア）	
本学学力試験	日本語	580	580
合計			2,000

※「満点」欄の点数を「本学配点」欄の点数のとおり換算する。

出願期間	2026年11月9日(月)～11月18日(水)必着
本学学力試験	2027年 2月 1日(月)
合格者発表	2027年 3月1日(月)

14　募集要項等について

(1) 募集要項の公表

出願手続、入試方法等を記載した各募集要項の公表予定時期は、次のとおりです。

○　一般選抜募集要項　　2026年10月下旬頃
○　学校推薦型選抜募集要項　　2026年 9月下旬頃
○　外国学校出身者選抜募集要項　　2026年 9月下旬頃
○　私費外国人留学生選抜募集要項　　2026年 9月下旬頃

インターネット出願による出願方法の詳細については、各募集要項をご覧ください。

各募集要項は、本学ウェブサイト（https://juken.hit-u.ac.jp/admission/info/guidelines/index.html）上にPDFファイルにて掲載します。

(2) 大学案内の請求方法

本学ウェブサイト（https://juken.hit-u.ac.jp/about/guide/pamphlet.html）上でご確認ください。

入学者選抜に関するお問い合わせ先

〒186-8601　東京都国立市中２丁目１番地
一橋大学 学務部 入試課
電話・FAX・e-mail:
一橋大学 WEB サイト＞お問い合わせ先一覧 からご確認ください。
（電話対応時間は 9 時 00分～17 時 00 分（土・日曜日、祝日、
夏季一斉休業期間、年末年始 は除く。）

お問い合わせは、<u>必ず入学志願者本人</u>が行ってください。

また、合否に関するお問い合わせには応じられません。